



令和4年度 第74回入学式 式辞

校長 小松 進一

春の息吹につつまれ、あらゆる生命が躍動感に溢れるこの佳き日、皆様のご入学を心からお祝い申し上げます。新入生の皆さん、東原中学校へのご入学おめでとうございます。今日は参列していませんが2、3年生の先輩方、そして教職員一同、皆様のご入学を心待ちにしていました。

本来ならば、小学校の校長先生、地域を代表される方々、本校に関わっていただいている皆様方、そして、ご家族の皆様のご臨席を賜り、杉並区立東原中学校第74回入学式を挙行いたしたところでしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、このように縮小して挙行しなければならなかったことに対して、新入生や保護者の皆様には大変辛い思いを抱かせてしまいました。皆様にお詫び申し上げます。

さて、新入生の皆さん、先ほど、担任の先生から名前を呼ばれ、大きな返事と起立する様子を見ていましたが、とても立派でした。頼もしくさえ感じました。今、皆さんを見守っている保護者の皆様も、きっと同じように感じたのではないのでしょうか。もう小学生ではなく、中学生なんだという自覚と決意が感じられました。しかし、当然のことですが不安感や緊張感もありますよね。皆さんには、それぞれに、東原中学校に入学したらこんなことを頑張るぞという抱負があると思います。勉強のことであったり、部活動であったり、中には、生徒会活動や行事を頑張るといふ人もいるかも知れません。新たなスタートラインに立ち、何かを始めようとする時、自分の考えを示すことは大事なことです。そして、自分の考えを実行することはもっと大切です。色々なことにチャレンジしてみると、新たな自分を発見したり、仲間と力を合わせることの楽しさを味わえたり、充実感を味わうことができます。ところが、思うようにいかないこともあります。苦しいことや辛いことから逃げ出したいことも必ずあるでしょう。しかし、苦しいことや辛いことを乗り越えることで、大きな自信となり、人間として成長することができます。そこで、皆さんが、これから3年間東原中学校で学ぶにあたり、自分を成長させるための4つのキーワードを贈りたいと思います。

1点目は「示す」です。先ほど、自分の考えを示すことと言いましたが、それは、「自分を相手に示す」ということです。自分の考え、意見、感想、疑問などを、色々な人、相手に示すということです。ここからコミュニケーションが始まります。コミュニケーションは、相手に自分を理解してもらい、また、相手を理解する最も重要な行動になります。

2点目は「動く」です。動くとは、むやみやたらに動き回ったり、体を動かしたりすることではありません。自分の考えに基づいて、目標をもって行動するということです。

3点目は「喜びを分かち合う」です。ニコッとするような小さな喜びでいいので、みんなで喜びを分かち合えるそんな関係をつくってください。今日の喜びが明日を生きる糧になります。また、喜びは人を笑顔にします。私も皆さんと喜びを分かち合い、笑顔を絶やさないでいきたいと思っています。

4点目は「挑む」です。「挑戦する」と言った方がわかりやすいかも知れません。挑戦する。やってみることで、困難に立ち向かう気持ちです。ちょっぴり勇気を出してやってみる。時には大きな決断を迫られるようなことがあるかも知れません。そんな時、自分の心に「一歩前に」とそっと声をかけてください。

これまで紹介した4つのキーワードは、自分を成長させるためのものです。うまくいかなかったり、何かに悩んだりしたとき、また、思い通りにいったときにもこのキーワードを思い出してみてください。きっと皆さんの成長に役立つと思います。

そして、もう一つ、皆さんには「見聞を広める」ということを意識してください。少し難しい言葉かも知れませんが、見聞とは「見る」と「聞く」と書きますが、自分の目で見たり、耳で聞いたりすることによって豊富な知識を得ることです。令和4年度も東原中学校では、各分野の専門知識や経験をもった方々をお招きして、授業や講演会を行う予定です。中学校生活でのあらゆる機会を利用して、見聞を広めてください。さらに、自分自身を見つめ生き方を考えてほしいと思っています。

最後に、東原中学校の教育目標を紹介します。自他の生命を尊び、心身の健康と豊かな人間性を養い、生涯を通して「学びながら自分を伸ばしていく」ための基礎となる力を育成するために、次の目標を設定しています。

1 自主（すすんで学び、自ら考える人になろう。） 2 感性（豊かな心を持ち、たくましく生きる人になろう。） 3 共生（互いを尊重し、共に高め合う人になろう。）

先ほどの4つのキーワードにも関わってきますので、この教育目標も意識しながら学校生活を送ってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校3年間はお子様の成長が著しいときです。心身ともに大きく成長し、大人への第一歩を踏み出していきます。

新しい時代に生きる新入生が、豊かな心を持ち、社会の一員として、自ら考えて行動できる人として、たくましく成長していけますよう、私たち教職員一同、全力を投じて教育にあたります。

子どもたちの健やかな成長と本校教育の発展のために、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

新入生の皆さん、自分という人間を大切に、そして、自分の周りの人たちの幸せを考えて行動できる中学生として、成長していくことを願い式辞といたします。

歓迎の言葉

在校生代表 第3学年 黒崎 健太

ひとあし早い春の訪れ、そして、暖かい春風に舞う正門の桜は、皆さんの入学を今か今かと待ちわびていました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、張りつめた空気が流れる、この東原中学校の体育館で、中学生としての第一歩を踏み出した皆さんですが、今、緊張していますか。慣れ親しんだ小学校を卒業し、今日から始まる東原中学校での生活に、夢や希望にあふれているのと同じくらい、慣れない環境で新しい仲間と過ごすこれからの毎日に、不安や悩みを抱えていることでしょうか。2年前の僕も、入学当時は期待と不安でいっぱいでした。しかし、頼もしくも優しい先輩たち、個性豊かな先生方、そして、これから共に学び、助けあう、皆さんの周りには仲間がいるからこそ、その不安は消え、楽しく学校生活を過ごすことができます。あまり不安をもちすぎず、安心して東原中学校での生活に慣れていってください。そして、東原中生としての誇りを持ち、東原中学校を好きになってください。皆さんがこれから過ごす東原中学校がさらに好きになる、東原中学校の魅力をいくつか紹介します。

まず、東原中学校の校風である『自由と責任』です。東原中学校は、制服ではなく私服の学校です。また、他の中学校で見られるような厳しい校則は定められていません。だからと言って、何をしても良い「自由」ではありません。規則として決められていなくても、生徒一人一人が、ものごとのよし悪しを自分で判断し、誰に言われなくても、「責任」をもって自分から行動に移す力が東原中生にはあります。そして、それは生徒と先生との信頼関係が成り立たなければできないことです。

次に、『校歌』です。東原中学校の校歌は、伴奏のないア・カペラで歌われ、さらに4つのパートに分かれる混声四部合唱です。これは、「合唱の東原」を象徴する、先輩方から受け継がれる伝統のひとつであり、東原中学校の自慢のひとつです。

最後に、『あいさつ』です。学年を問わず、廊下ですれ違うたびに交わされる「あいさつ」も、東原中学校の伝統のひとつです。同級生だけでなく、先輩や後輩、先生、みんなが分けへだてなく明るいあいさつを交わすことで、学年の枠を越え、東原中生全員の絆を強いものにしています。さらに、東原中学校伝統の「あいさつ」は、さまざまな行事を成功に導く、大切な力となっています。

東原中学校には、運動会や合唱祭などの学校行事や、学年を越えた有志による活動など、伝統として受け継がれてきたものがたくさんあります。しかし、僕たちが入学した2年前からは、新型コロナウイルスの影響で、行事が縮小開催となったり、本来行われてきた活動が行われなかったりすることが多く、僕たち3年生も、代々先輩方が受け継いできた東原中学校本来の姿を見たことがありません。それでも、長く続いてきた伝統を途絶えさせないため、そして、後輩たちに繋いでいくために、「今」できることを考え、形にしようとしています。当たり前が当たり前にはできない「今」だからこそ、学年を越えて、新たな東原中学校の伝統を、ともに作りあげていきましょう。今日から皆さんも、東原中生の仲間入りです。自分から積極的に、東原中学校に新しい風を吹き込んでください。そして、困ったことがあれば、いつでも相談してください。東原中生の一人として、新入生の皆さんを全力で支えていきます。

最後に、新入生の皆さんが、希望と誇りを胸に、最高の中学校生活を送れることを願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

新入生誓いの言葉

新入生代表 奥田 実里

暖かな陽がさし、桜の舞う季節となりました。

私たちは先月、数々の思い出や学びと共に小学校を卒業し、今日、東原中学校に入学します。

これから始まる中学校の生活では、小学校のときと比べ様々な変化があることでしょうか。例えば勉強の面では算数が数学に、図工が美術と技術にわかれ小学校よりも詳しく学ぶことが増えます。そして新たに定期テストもはじまります。またそれに加え授業のスピードもはやくなっていくと聞きました。そのため、自主的な学習も大切になります。小学校のころは予習や復習をせずにいることもありましたが中学校では苦手だからといって逃げるのではなく苦手だからこそ正面から向き合って克服していきたいと思います。また勉強に対してだけでなく、部活動や委員会、日常生活でも同じ姿勢で積極的に取り組みたいです。そして、そのような姿勢が楽しく充実した中学校生活につながればいいと思います。

これからの三年間、先輩方、先生方、地域の皆様、保護者の皆様、どうぞよろしくお願ひします。